

## 第7回札幌市市民活動サポートセンター事業運営協議会概要

日時：平成20年5月29日(木)

19:00～21:00

場所：札幌エルプラザ 会議室1・2(2階)

### 議事の内容

#### (1)平成19年度 事業状況報告

平成19年度に実施した各種事業の実施状況について報告をした。

また、平成19年度の施設利用状況、活動支援施設など相互利用状況、印刷機等支援機器利用状況、団体登録状況、市民活動相談状況などの報告をした。

#### (2)平成20年度 4～5月運営状況報告

平成20年度4月から5月までに実施した各種事業の実施状況について報告をした。

##### 報告の要旨

- ・活動支援施設の相互利用が前年度と比較して大幅に増加した。
- ・市民活動相談の相談件数は全体としては減少した。センターや市民活動一般に関する問い合わせが減少する一方、事業・イベントや組織運営に関する相談は増加しており、市民活動相談について周知が進んだ結果であると考えられる。

##### 意見の要旨

- ・利用者アンケートおよび他施設アンケートの質問項目と結果を明らかにしてほしい。
- ・利用件数だけでなく利用内容についても調査してほしい。

#### (3)前回の事業運営協議会における提案、要望に対する経過報告

前回の事業運営協議会において、事務ブースの要項について検討を行いたいとの提案があったため、現在の事務ブースの利用状況を資料に示し、報告をした。

#### (4)検討議題 札幌市市民活動サポートセンター事業運営協議会の運営について

検討課題について、評価のみをいただく従来の形式から、委員と事務局が協働で考える新しい形式へと移行することを提案し、検討議題とした。

##### 意見の要旨

- ・検討課題を考えるべき主体は場合によって異なり、利用者や市の参加が必要なこともある。協議会と事務局だけで考えるのではバランスを欠く。
- ・協議会が支援内容について発案できるようになるのは賛成だ。
- ・拡大協議会の意義が明らかでない。それよりも市が協議に参加することを望む。
- ・アンケート、聞き取り調査など、利用者の意見を反映させるための情報源を用意するとよい。

#### (5)その他

##### (運営の評価基準について)

- ・評価基準として、数的な基準だけでなく、利用の質についても基準を設けるべきだ。
- ・利用の質を高めるために利用目的を厳しく限定すると、利用者数が減少し評価が下がるおそれがある。
- ・登録基準が明確でないため、公益性の明白でない団体でもセンターを利用できる現状がある。登録基準を明確化しないかぎり、利用の質の向上は望めない。
- ・他施設の指定管理者が利用の質を維持向上させるためどのような方策を取っているか、聞き取りを行うと良いのではないか。
- ・登録の際に、市のまちづくりに協力することを義務づけてはどうか。
- ・団体登録については自主更新制を採用し、活動している団体数を正確に把握するとよい。